

# 無垢材確認書～木になる14の事

タマケン

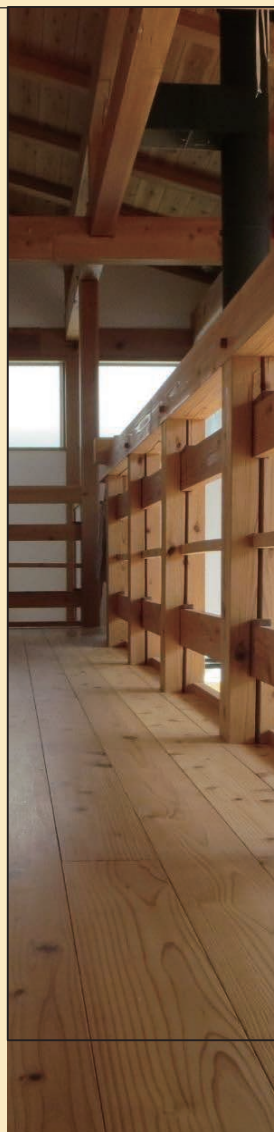
## 無垢の木

無垢の木には  
温もりがあります。

本物ならではの質感、肌触り。時が経つほどに生まれる味、色艶。本当素敵なんです。  
適性も備えています。（表面の塗料にもよりますが）

木は生き物です。  
大量生産のできる既製品ではありません。ひとつひとつがオンリーワンなのです。  
沢山の樹種それぞれに木目や杣目、赤身や白太、節や斑、様々な特徴があります。同じ樹種であっても育った環境によりちがいが出ます。その為、品質も一定しません。

これから無垢の木と上手に暮らしていく為に知っておいて頂きたい特徴やコツをご紹介します。是非ご一読頂き、ご理解いただくと幸いです。



## 3：割れ反り

室内の湿度（湿気）の状況によって、木の細胞内の水の具合によって、木は伸縮し反りが起きます。  
びっくりするくらい割れたり、反ったりすることもあります



## 4：反り

フローリングの裏面には反り止め目的でスリットが入ります。  
テーブルやカウンターには裏面に反り止めの金物等を施します。それでも反る事があります。



## 5：ヤニ

松、ヒノキ、ヒバなどで、ヤニがでる場合があります



## 8：変色

木は経年変化によって変色します。色が濃くなったり薄くなったり。

外部のものはシルバークレーになりたがり、内部のものは比較的濃くなりたがります。

塗装などのメンテナンスで調整が可能ですが、色の変化を楽しむ気持ちをお持ちください。



## 12：虫

シロアリやキクイムシなど虫による被害を受ける事があります。



## 13：ひやっ

木は温かみがあるといわれます。ですが、冬の朝などは正直ヒヤッと感じます。コンクリートやタイルに比べたら熱伝導は低いのですが、木そのものが温かいわけではありません。



## 14：マンション床

マンションによっては上下階の防音の規定があります。その規定のレベルによっては無垢フローリングを使う場合、何らかの処置を行う必要が出てきます。



## 1：隙間

木材の細胞壁は水分を吸収すると膨張し、放出すると収縮します。冬は湿度が低いので木は水分を放出し収縮します。



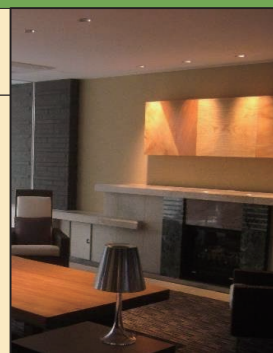
## 6：床鳴り

木の収縮や反りによって、歩いていると床がきしむ音がすることがあります。（右図は妖怪：床鳴）



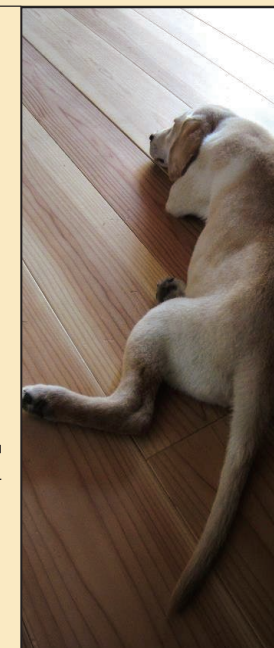
## 10：暖房器具や加湿器

暖房器具や加湿器のそばの木は、伸縮や反り、隙間が大きくなります。  
木の中の細胞壁の水分の吸収と放出の量が他と比べて大きくなるからです。ご理解ください。



## それでもやっぱり無垢が好き

無垢の木の問題点を説明してきましたが、それでもやっぱり！無垢の木は最高です！ぜひぜひ、木そのものの風合いを楽しんでほしいです。経年の変化は経年美化と捉えていただきたいです！！



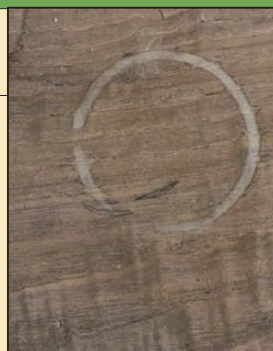
## 2：傷

スギやヒノキ等の針葉樹は柔らかく、硬い木に比べて傷が付きやすい樹種です。もちろん硬い樹種でも傷は必ずつきます。長い年月で摩耗も起こります。



## 7：水に弱い

水を含むと膨張し反りが起こる性質もあります。シミがつく事もあります。室内の木材はなるべく早く水をふき取る事が大事です。



## 11：塗装

塗装によっては数年で塗り直しが必要ですし、剥がれてしまうものもあります。着色で色ムラが激しくなる木もあります。場所や用途によって塗料を選びます。塗装には必ずメンテナンスが必要です。



※1～

な方、節や木目に過敏な方は、プリント製品や無垢材でない加工品のご選択をお考え下さい。！！